小学校４年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			計
	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	0	0	0
±10％ の範囲内	1	1	5	7
－10％ より低い	0	3	0	3
計	1	4	5	１０

（２）考察

①　全体について

ア　「書くこと」と「言語事項」の学習状況は、設定通過率をすべて上回り良好である。

イ　「読むこと」の学習状況は、４問中３問の結果が設定通過率を10%以上下回っており、細部に注意して読む問題等に課題が見られた。

②　成果

ア　「書くこと」では、必要な情報を選択し、読み取ったことと自分で考えたことを書き表すことについて、おおむね満足できる状況にある。

イ　「言語事項」では、「漢字の読み書き」を問う問題及び「修飾・被修飾の関係」を問う問題の結果が良好である。

③　課題

ア　「読むこと」では、情景や人物の気持ちの変化について、叙述を基に想像しながら読み取る力を伸ばしていく必要がある。

イ　「読むこと」において、文章を引用したり要約したりして、条件に応じてまとめる力が十分とはいえない。

（３）今後の指導

ア　「読むこと」では、文章の内容を正しく捉えるために、語句や細部に注意して読み取らせる指導を充実させたい。

・登場人物の性格や気持ちの変化を、物語の展開を押さえて正しく読み取るために、一つ一つの言葉に着目して読むことを繰り返し指導するなど、指導過程を柔軟に工夫する。

・文脈の中における語句や慣用句（今回は「息をのむ」）などの意味を考えるとともに、他の語句と比べることによって、語彙を増やしたり、語感を磨いたりする学習を行う。

・教科書教材と並行読書を行うなど、文学作品に接する機会を増やし、読書活動の充実を図る。併せて、学校図書館を効果的に活用する。

イ　読み取ったことを、条件に応じてまとめたり、読み取ったことについて考えを交流したりする言語活動を充実させることで、 読みを深める指導を展開したい。

・登場人物の気持ちを叙述に基づいて想像し、それについて自分の考えをまとめ、友達と交流するような学習においては、目的意識や相手意識を明確にして指導する。

・登場人物の性格や気持ちを考える際には、細部の読み取りとともに、各場面の様子に気を付けながら場面と場面を関係付けて読む活動を取り入れる。

8)

ぼくは息をのんだ　とありますが、その理由にあてはまるものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで記号で書きなさい。

ア　とかげに当てるつもりはなかったのに、投げたろうせきが当たったから。

イ　とかげに当てるつもりでろうせきを投げたら、ねらいどおり当たったから。

ウ　とかげに当てるつもりはなかったのに、原っぱの石がバウンドして当たったから。

エ　とかげに当てるつもりでろうせきを投げたら、しっぽだけがのこったから。

9)

ぼくは空っぽな世界のまん中に、ひとりぼっちで立っているとありますが、このときの「ぼく」の気持ちを「のぶちゃん」と「とかげ」という言葉を使って、「～という気持ち」に続くように書きなさい。

高校入試問題を参考